

報道関係各位

株式会社ゼンリンデータコム  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

## 位置属性データとドライバーの走行データを活用した カーナビシステム向けメディアサービスの共同開発を開始

株式会社ゼンリンデータコム（本社：東京都港区／代表取締役社長：清水辰彦、以下「ゼンリンデータコム」）と株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区／代表取締役社長：大森壽郎、以下「博報堂DYメディアパートナーズ」）は、位置属性データとドライバーの走行データを活用したカーナビシステム向けメディアサービスの共同開発を開始いたします。

従来のカーナビシステムはドライバーを目的地に案内することにフォーカスされてきましたが、今後本格化するコネクテッド・カー時代では、自動車そのものが ICT 端末としての機能を有し、ドライバーの走行データなどのデータを蓄積・分析することが可能となります。そのため、それらのデータをどのようにカーナビシステムに活用していくかが課題でした。

ゼンリンデータコムが保有する位置属性データは、ドライバーの走行場所を特定することが可能です。今回の共同開発では、その位置属性データと活用方法が課題とされていたドライバーの走行データを連携させることにより、ドライバーに対して有益な情報を提供することができます。加えて、株式会社博報堂DYホールディングス マーケティング・テクノロジー・センターが開発した、GPS、WiFi、iBeacon などのセンサー情報や、過去の行動履歴等に基づいて配信する情報を変更する等、屋外での情報配信に対して高い自由度と柔軟性を実現することができる屋外情報配信プラットフォームを活用することにより、本メディアサービス開発が実現しました。

メディアサービスの第一弾として、ゼンリンデータコムが提供するカーナビアプリ『ゼンリンいつも NAVI [ドライブ]』アプリ(※)を活用し、ドライバーが設定した目的地へのナビゲーションだけでなく、ドライバーの位置情報や趣味嗜好に合わせた周辺のおすすめスポット・周辺店舗の広告配信および当該スポット・店舗等へのナビゲーションまで行う実証実験を、2016年10月3日（月）より Android 版から先行して実施しています。

これによりドライバーは『ゼンリンいつも NAVI [ドライブ]』アプリを通じて有益な情報を受け取ることが可能となり、広告主は従来の Web やアプリへのバナー出稿ではない形で、自社店舗への誘導が可能となります。

今後、ゼンリンデータコムと博報堂DYメディアパートナーズは、本アプリを活用した実証実験の結果をもとに、カーナビシステムへの組み込みやコネクテッド・カーへの提供を想定したメディアサービスの開発を推進していきます。さらに、株式会社博報堂をはじめとしたグループ各社を通じて、企業に対する本メディアサービスの導入提案等を行っていきます。

### ※『ゼンリンいつも NAVI [ドライブ]』

ゼンリンデータコムが提供する『ゼンリンいつも NAVI [ドライブ]』は、地形や建物までフル 3D で地図表示し、交差点や分岐点での音声による右左折の案内はもちろん、方面看板や進行レーンの 3D ガイドも表示することができる、ドライブに必須のコンテンツが充実したカーナビゲーションアプリです。

### ■ 各社の役割 ■

株式会社ゼンリンデータコム：位置属性(POI)データ提供、アプリ提供(『ゼンリンいつも NAVI [ドライブ]』)

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ：メディアサービス開発

《実証実験画面イメージ》



\*本サービスで活用する情報のうち、個人情報に該当する情報は、同意を得た範囲にて適切に取り扱います。位置情報の取り扱いに関する利用目的や取得情報などの規約事項にあらかじめ同意したユーザーのみを対象とします。

■ 会社概要 ■

—株式会社ゼンリンデータコム

代表者 代表取締役社長 清水 辰彦  
 本社所在地 東京都港区港南2丁目15番3号 品川インターシティC 棟6階  
 設立 2000年4月13日  
 事業内容 ネットナビ事業(通信対応ナビを含む情報端末への地図情報および付加価値情報の提供サービス)、Web-GIS事業(法人に対する地図をベースとした付加価値情報サービス)、拠点案内事業(Web上での拠点案内サービス、モバイル端末への地図サービス)

—株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

代表者 代表取締役社長 大森 壽郎  
 本社所在地 東京都港区赤坂5丁目3番1号 赤坂Bizタワー  
 設立 2003年12月  
 事業内容 広告メディアの取り扱い等